

## 令和元年度 第10回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和元年12月6日（金） 13時00分から14時45分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長兼総合政策部付参事、原田秘書広報課長、塚平財政課長、田中企画課長

### 会議内容

#### 1 理事者あいさつ

##### <市長>

本日の午前中までで議会の代表質問、一般質問が終了したが、議員の皆様がいろいろ調べて、例えば予算編成にむけたご提言もいただくなど、より深い議論をしようという姿勢を感じたところである。今後も、より議論が深めるために的確な情報を議員としっかり共有していくことが重要であると感じた。

また、予算編成の大事な時期となり、これまで各部署と協議はしているが、改めて2027年のリニア駅開業を意識した予算編成をお願いしたい。開業を見据え、駅及び駅周辺整備を前提とした今後の予算編成が求められている。アクセス道路整備や産業・人づくりなど地域づくりは重要であるが、特に大規模な事業やプロジェクトに対する計画性や工夫を意識して予算編成に取り組んでほしい。

##### <副市長>

来週からは議会の常任委員会が始まり、より具体的な説明をすることになるが、しっかりと準備をして臨んでほしい。

##### <教育長>

議会の場が政策をより良いものにするための機会にしたいと考えている。今回の答弁で「研究、検討する」と答えた内容については、改めて教育委員会内部での会議で対応について共有を図ったところである。是非、他部署内でも組織としてしっかり認識をして取り組みを進めてほしい。

#### 2 協議事項

##### (1) 環境マニュアル第32版に基づくISO14001内部監査の報告及び環境マニュアルの改正について (市民協働環境部)

◇趣旨：環境マニュアル第32版に基づき、計37部署の内部監査及び事務局監査を実施した結果を報告。また、第1回マネジメントレビューを行い、市長からの指示事項をもとにした環境マニュアル改正の方向性について部長会議で共有するもの。

##### ◇論点・課題

- ・内部監査の総括としては、飯田市環境マニュアル第32版がISO14001：2015年版の要求事項を満たしていること、推進方法に問題点がないことが確認されたが、実務については改善の余地がある。
- ・昨年まで部でとらえていた組織課題をいいた未来デザイン2028の記載内容に変更したこと等により、本来業務に即したマネジメントシステムの展開が可能になり、ISO規格にあった運用ができています。ただし、環境側面というと、ISOで定義する環境への影響の全てを事業で抽出しきれないため、順守義務の漏れがないよう改善をする必要性がある。
- ・市長からの指示事項については、事務事業進行管理、目標管理との統合を引き続き進めること、温室効果ガスマイナス40%を実現するために再度職員にエネルギー使用について徹底を図ること、市民と共に3Rを進めゴミ削減を図り、クリーンセンターへのゴミ搬入量を減少し、災害地域支援としての災害ゴミの受け入れを可能にして、支え合いと相互補完を旨とする地域循環共生圏の構築を目指すこ

とが挙げられている。

- ・これまでの取組、検証、評価についてご確認いただき、下半期への取組についてもご理解ご協力をお願いしたい。

#### ◇主な意見等

(市立病院事務局長) エネルギー量のことであるが、市立病院は平成4年に建設され、現在第4次改修中であるが、蛍光灯をLEDとし、サッシをペアガラスに交換を進めており、次年度には効果が見込まれることを報告する。

(市民協働環境部長) ISOがスタンダードになり、次のステップとして事業所の省エネ活動を地域ぐるみで取り組もうという方向性がでていいる。市が率先して取り組むべきであり、国の制度を使って本庁舎の省エネ診断を12/10まで実施し、本年度中に結果が出る予定である。是非、他の施設でも省エネ診断等の取組で改善に早く取り組んでいただきたい。

#### ◇協議結果

部長会了承

### (2) 次期飯田市中心市街地活性化基本計画の原案について（産業経済部）

- ◇趣旨：昨年度から市民会議で検討し、庁内会議での調整及び内閣府への事前相談を行い、策定を進めてきた同計画の原案を示し、今後の進め方等を説明する。

#### ◇論点・課題

- ・第3期計画は「共創・協働による取組」、「既存ストックの活用によるまちづくり」をポイントとし、中心市街地3地区の基本構想を出発点とした実行計画づくりを進め、地区と多様な団体との連携、これまでの取組を重視した計画である。
- ・住民アンケート結果や3地区の基本計画、立地適正化計画との整合性を図りながら策定。
- ・直近のピアゴの跡地利用の案件なども計画上盛り込まれているが、各事業の実施等については、今後のリニア駅関連事業を見据え、全体の財政見通しの中で進めていく予定である。

#### ◇主な意見等

特になし

#### ◇協議結果

部長会了承

### (3) 公営住宅長寿命化計画の改訂について（建設部）

- ◇趣旨：平成22年度策定の同計画の計画期間の終了に伴い、令和2～11年度までを期間とした改訂方針と今後の進め方について説明する。

#### ◇論点・課題

- ・国の指針に従い「耐震性に係る安全性の確保を優先事項」とする。
- ・現行計画を継承しつつ、飯田市住生活基本計画に即して、公営住宅の団地の維持・管理方針・住宅改善の必要性と可能性に基づく団地・住棟について、「社会的特性」、「物理的特性」、「ライフサイクルコスト比較」の観点から事業手法の精査を行う。
- ・用途廃止による跡地利用は、地域への定住化を図る分譲地等として活用する。

#### ◇主な意見等

特になし

#### ◇協議結果

部長会了承

### (4) 史跡飯田古墳群保存活用計画（原案）について（教育委員会）

- ◇趣旨：平成29年度から策定を進めてきた史跡飯田古墳群保存活用計画の原案について説明し、保存活用方針等を確認する。

#### ◇論点・課題

- ・史跡飯田古墳群を将来にわたって保存・継承・活用するための基本的な方針や方法、現状変更等の具体的な取扱い基準を定め、今後の整備・活用の方針、保存事業推進の方策・体制整備を示すもの。
- ・10年間を計画期間とし、保存管理・活用、運営体制の整備に関する諸事業と追加指定及び実態把握のために必要な範囲確認調査等を実施していく。

#### ◇主な意見等

(市民協働環境部長) 活用について、高岡第1号古墳と恒川官衙遺跡という史跡を通じて歴史が読み取ることが特徴点であることと、遺物が保管されている飯田美術博物館と上郷考古博物館の連携が明記されていることが重要であると思う。

#### ◇協議結果

部長会了承

### 3 報告事項

#### (1) 人事行政の運営状況の公表について(総務部)

◇趣旨：市職員の給与や定員管理の状況について、地方公務員法・飯田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき公表するもの。

#### ◇主な意見等

(教育次長) 研修参加者が明記されているが、正式任用前研修や新任課長研修のフォローアップ研修を翌年度に実施するのではなく、もう少し早い段階で実施できるよう検討してもよいと思う。

#### (2) 令和元年度飯田市補正予算(第7号)について(総務部)

◇趣旨：人事院勧告に伴う人件費の補正について、飯田市議会第4回定例会に報告する。

#### ◇主な意見等

特になし。

#### (3) リニアバレー構想実現プランについて(リニア推進部)

◇趣旨：長野県リニア整備推進局が進めるリニアバレー構想実現プラン策定の進捗状況及び、リニア駅近郊エリアのまちづくり構想策定に係る検討会の進捗状況を部長会で共有する。

#### ◇主な意見等

(市長公室) 県担当局による両案件の進め方や今後のスケジュールは承知したが、そもそも事業を始めた趣旨に、リニア駅と合わせて、周辺市町村に企業や研究施設、大学のサテライトが誘致できることを想定した考えがあったと思う。そこはしっかり押さえながら進めてほしい。

(産業経済部長) プラン策定するにあたり、行政だけでなく経済団体等との意見集約もしながら進めてほしい。

(リニア推進部参事) いただいたご意見を県に伝えていく。

#### (4) リニア駅周辺整備基本設計について(リニア推進部)

◇趣旨：9月議会でのデザインノート(案)、概算事業費についての説明後に、パブリックコメントを実施。議会、パブコメ、各地区等からの意見を反映させたデザインノートの修正案として12月議会に諮り、基本設計を完成する。

#### ◇主な意見等

特になし。

(5) 丹保・北条地区代替地及び代替地登録制度の公表等について（リニア推進部）

◇趣 旨：リニア関連事業に伴い、登録された代替地情報を令和2年1月14日からの公表を予定し、移転をお願いする方にあっせんによる支援を行う。

◇主な意見等

特になし。

(6) いいだ山里街づくり推進計画（飯田市版立地適正化計画）の策定について（建設部）

◇趣 旨：都市計画審議会・土地利用計画審議会、市議会、関係団体、パブリックコメント等の必要な手続き等を経て、調製した最終案について報告。

◇主な意見等

特になし。

(7) 飯田市と信州大学との包括的連携協定の締結について（総合政策部）

◇趣 旨：飯田市と信州大学の専門的知見や人的ネットワーク等を地域課題の解決や人材育成、地域振興に活かすために、包括的な連携協定を締結することを報告。

◇主な意見等

特になし。

(8) 市議会全員協議会(12/18)における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：12月18日開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件4件を報告する。

◇主な意見等

特になし。

(9) 市議会各常任委員会協議会における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：12月11日から12月16日に開催が予定されている、飯田市議会第4回定例会の各常任委員会協議会の報告事項を報告する。

◇主な意見等

特になし。

## 4 閉 会